

火焰型土器

新潟の宝、火焰型土器。約5,000年前の縄文時代中期ごろに発達し、信濃川上・中流域を中心に約500年間に盛んに作られました。十日町市野首遺跡では火焰型土器11点と王冠型土器8点が復元され、その数は同市の国宝・笹山遺跡出土品の17点を超えます。また、東北・北陸など他地域の影響を受けた土器や火焰型土器前後の土器も出土し、火焰型土器の成り立ちを知るうえで重要です。本展覧会では、十日町市指定文化財である野首遺跡の出土品を一堂に集め、火焰型土器の圧倒的な迫力と優雅な造形から、縄文の息吹を感じていただきます。

※表紙の火焰型・王冠型土器は4/13～5/27の期間限定公開となります。5/29からは別の火焰型土器を展示します。

展示解説 4月22日回・5月27日回
11:00～12:00



王冠型土器
※前期～後期展示品
Photo by T.Ogawa



火焰型土器
※前期～後期展示品
Photo by T.Ogawa

■ 講演会 参加無料

- 会場：新潟県埋蔵文化財センター
定員：80名（当日定員になり次第締切。満員の場合、参加をお断りすることがありますので、あらかじめご了承ください。）
申込み：不要（情報保障（手話通訳・要約筆記）が必要な方は開催日の2週間前までにご連絡ください。）
- ①「土偶と火焰型土器」
日時：4月22日（日）13:30～15:30 講師：石川智紀（新潟県埋蔵文化財センター）
 - ②「縄文時代中期の大集落 野首遺跡—火焰型土器を作った縄文人のくらし—」
日時：5月20日（日）13:30～15:30 講師：菅沼 亘氏（十日町市博物館）
 - ③「火焰型土器の造形」
日時：6月17日（日）13:30～15:30 講師：宮尾 亨氏（新潟県立歴史博物館）

■ 「花と遺跡のふるさとフェスタ」 参加無料

会場：新潟県埋蔵文化財センター
日時：6月3日（日）9:30～12:00 13:00～16:00
午前はクミを石で割る体験、午後は火起こし選手権を開催。花と遺跡のふるさと公園内で様々なイベントを同時開催！

■ 少年少女考古学教室「縄文土器の観察と土器作り体験」 要申込 参加無料

会場：新潟県埋蔵文化財センター、対象：小学4年生～中学3年生、定員20名
日時：6月17日（日）9:00～12:00 申込期間：5月1日（火）～6月15日（金）

■ 巡回展「縄文の造形美—六反田南遺跡と火焰型土器—」

会場：目黒邸資料館（魚沼市須原）
日時：5月26日（土）～7/16（月）9:00～16:00
観覧：大人200円（150円）、小・中学生100円（60円）※（ ）は20人以上の団体料金



東北系の大木8a式土器
Photo by T.Ogawa

縄文の息吹

— 次回企画展案内 —

夏季企画展「丸木舟の考古学」
7月6日（金）～12月9日（日）



曲線文土器



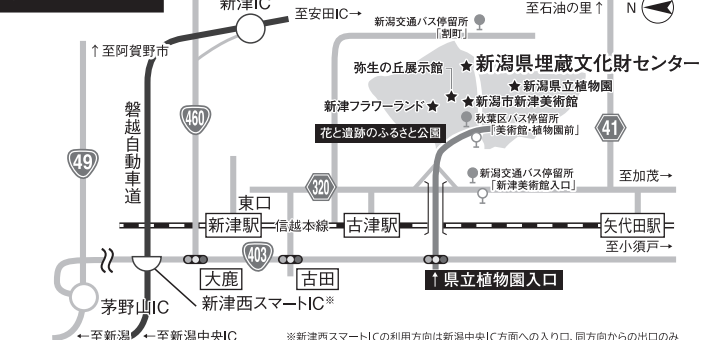
三角形土製品



土偶の頭部

Photo by T.Ogawa

交通アクセス



- | | | |
|------|---|------------------|
| 高速道路 | 磐越自動車道新津ICから国道460号経由国道403号三条・加茂方面へ約15分 | 無料駐車場
(85台収容) |
| 一般道路 | (新潟方面から) 国道49号茅野山ICから国道403号約20分 | |
| JR | 信越本線新津駅からタクシー15分 古津駅から徒歩25分 | バス |
| バス | 新潟交通観光バス：新津駅東口から「金津」行き「割町」下車徒歩5分
「矢代田経由白根・湯東営業所」行き「新潟美術館入口」下車徒歩10分
区バス：新津駅東口から「新津駅西口」行き「美術館・植物園前」下車徒歩3分 | |